

高橋等

たかはし・ひとし

衆議院議員、法務大臣

経歴

生:明治36年(1903年)3月20日、広島県福山市深津町生れ

没:昭和40年(1965年)8月10日、享年63歳

大正10年(1921年)	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
—	—	第六高等学校卒業
昭和2年((1927年)	24歳	東京帝国大学法学部卒業
—	—	高等文官試験合格
—	—	逓信省へ入省
—	—	札幌通信局
—	—	熊本通信局
—	—	逓信省簡易保険局管理課長
—	—	商工省金属回収本部総務課長
—	—	広島商工局商工部長
—	—	軍需省大阪燃料局長
昭和24年(1949年)	46歳	衆議院議員(6回当選)
—	—	防衛政務次官
—	—	自民党政務調査会内閣部会長
—	—	自民党国会対策副委員長
昭和39年(1964年)7月	61歳	法務大臣(第3次池田内閣、第1次佐藤内閣)
—	—	勲二等旭日重光章

生い立ちと学業、業績

父・高橋理一は医師にして政治家、母・ヒサとの長男。
郷土福山の代表的政治家として高橋等氏は今や貴重な存在となった。
誠之館、六高、東大法学部というコースを経て、逓信省、厚生省、商工省を歴任、官僚の逸才と評されたが、終戦前後は広島商工局長、近畿燃料局長を勤めた。

戦後政界に入り、衆議院議員当選4回、既に10年余を政治生活に没頭している。
政界入り後は同郷の故池田勇人元首相に近く、持ち前の積極さと実直さで活躍した。
短い頭髪、鋭いまなざしで院内を歩く姿は、当時の国会でも人目を引く存在だった。
この間、自由党国会対策副委員長、自由党政調会内閣部長など党務に精励し、防衛庁政務次官に任ぜられ政治活動のほか、戦後、引き揚げ者や戦傷病者とその遺族問題の対策、生活保護や恩給問題などの世話にも打ち込んだ。
住所:福山市東深津町。

出典1:『政治産業文化備後綜合年鑑』、野上五郎・式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和34年9月

関連情報1:『備後先覚者名鑑(郷土を創った人々)』、13頁、「高橋理一」、村田露月・式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和35年6月

2005年6月3日更新:本文・出典●2006年4月3日更新:タイトル●2008年4月25日更新:経歴・本文・関連情報●